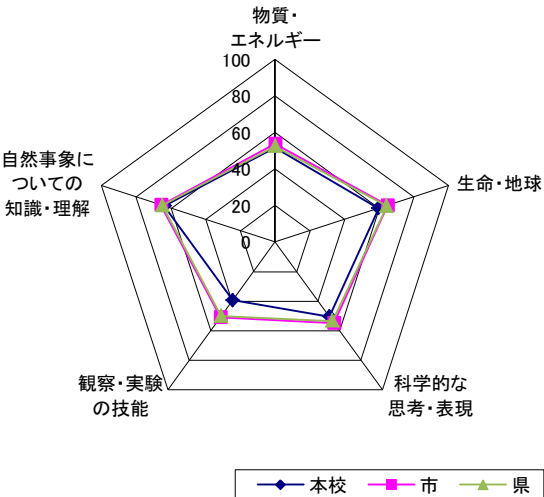


宇都宮市立平石北小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	51.9	53.7	52.5
	生命・地球	59.5	64.9	64.3
観点	科学的な思考・表現	50.5	54.7	53.4
	観察・実験の技能	39.4	50.8	50.3
	自然事象についての知識・理解	63.8	65.7	64.9



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・宇都宮市の平均をやや下回っている。 ・空気を温めた際のゼリーの動きとその理由を説明する問題については、39.4%で市の平均より5.8ポイント下回っている。 ・水は沸騰すると水蒸気という気体になることに関する問題については54.5%で市の平均より10.2ポイント下回っている。	・実験に関心が高い児童が多いため、日常生活と実験が結びつくようなテーマを設定し、実験への意欲がさらに高まるようにする。 ・実験の際には、どこに注目すべきかのポイントを示し、目的をもって実験に臨めるようにする。
生命・地球	・宇都宮市の平均を下回っている。 ・人の背中や手が丸く曲げられる理由を説明する問題については、24.5%で市の平均より19.1ポイント下回っている。 ・星座早見の月日と時刻の合わせ方の問題については、42.4%で市の平均を21.8ポイント下回っている。また、星や星座の見える位置と並び方についての問題については、66.7%で市の平均を12.1ポイント下回っており、天文分野に関して低い値を示している。	・児童の日常生活における疑問や発見を拾い、それらを導入部に取り入れ、生命・地球分野への関心が高まるよう支援していく。 ・保護者の協力や理解を得、家庭学習において、夜に星座を見る機会を促していく。 ・授業の中で、復習・まとめの時間を十分に確保し、学習内容の定着を図っていく。